

講座資料

## 【徳島県よろず支援拠点 youtube 講座】

「人を大切にする経営を目指しましょう」

～点から線、線から面、面から立体の、伴走支援を行いましょう～

---



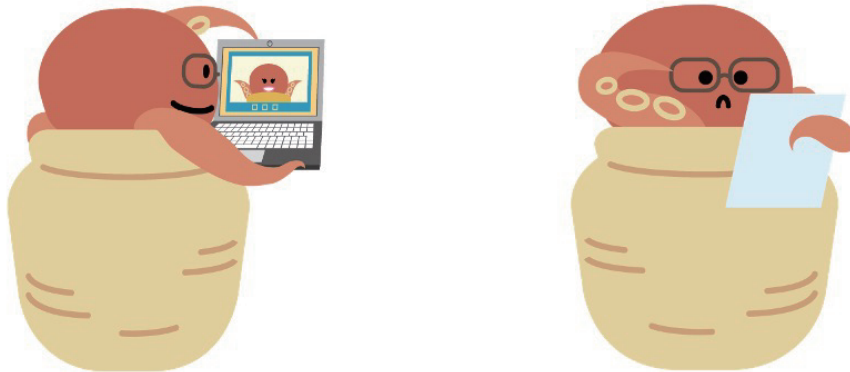
< ご注意ください >

講義資料等は、著作物として、著作権法により著作者の権利が保護されています。

徳島県よろず支援拠点の許可なく、本資料を勝手に改変したり、再配布ことは禁止しております。

## 人を大切にする経営を目指しましょう。

\*\* 「点から線、線から面、面から立体」の伴走支援を行いましょう\*\*



蛸壺君です。丸山眞男さんの社会学に登場してます。日本社会の特徴を表現しているということで私の行うセミナーには、よく招待させていただいております。最近のメインテーマは「日本で一番大切にしたい会社」になりつつあります。人を大切にして、生産性向上・規模拡大を考える際のテーマでしょう。



中小企業庁  
徳島県よろず支援拠点



サブチーフコーディネーター

HINODE HARUO  
日出晴夫

連絡先：TEL 088-676-4625

公益財団法人とくしま産業振興機構

〒770-0865 徳島県徳島市南末広町5番8-8

徳島経済産業会館 2階

FAX : 088-653-7910

E-mail : hhinode@our-think.or.jp



- ・阿南工業高等専門学校卒
- ・大阪市立大学経済学部卒
- ・徳島県信用保証協会、36年勤務
- ・中小企業診断士は旧情報部門にて取得
  
- ・イーマネージメント協同組合員

抑々、人間というものは、どのような生き物なののでしょうか？原論的に考えて行きましょう。

段階	説明	あえて、勘定科目で表現します。	『ヒト』の組織の3要件
超自我の探求	見返りを求めず、自我を忘れてただ目的のみに没頭する	寄付	共通目的
自己実現の欲求	「あるべき自分」になりたいと願う欲求	研究費	貢献意欲
承認の欲求	他者から尊敬されたい、認められたいと願う欲求	接待・交際費	情報共有
社会的欲求	友人や家庭、会社から受け入れられたい欲求	交際費	
安全の欲求	安心・安全な暮らしへの欲求	貯金・保険	
生理的欲求	「食欲」「排泄欲」「睡眠欲」	生計費	

協同した行動、その在り方によって社会競争力に差が出るようです。ホモサピエンスとネアンデルタール人の比較が説得力に富みます。

ヒトは、立派な行動だけに終始しません。立派な組織・事業体だけとは限りません。『BULLSHIT JOBS』などは、人の問題を語る場合の教訓となります。観念的な話も興味深いのですが経営論では具体的が欲しいものです。

あるべき姿（To-Be モデル）は、定評ある顕彰制度から見えてくるものです。

私には大切にしたい会社があります…

**「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞**

**四国でいちばん大切にしたい会社大賞**

**第3回 受賞企業** | 中小企業庁長官賞



西精工株式会社  
〒770-0005  
徳島市南矢三町1丁目11-4

	表彰の区分	受賞者	所在地
2019年度 第9回	四国経済産業局長賞	株式会社 北四国グラビア印刷	香川県観音寺市
	中小企業基盤整備機構 四国本部長賞	株式会社 岡部機械工業	徳島県阿南市
	奨励賞	株式会社 川上板金工業所	香川県仲多度郡まんのう町
	奨励賞	船場化成 株式会社	徳島県徳島市
	奨励賞	日本フネン 株式会社	徳島県吉野川市

徳島の企業様も頑張ってますね。

日本経営品質賞なども申請してみたいものです。

\* 日本生産性本部が運用しております。

とくしま産業振興機構の徳島県経営品質賞なども興味深いものです。地域未来牽引企業、地域ハブ企業などの考え方もあります。



Japan Quality Award



こんな形でコンサル活動を行っております。

<p>点 線</p>	<p>直近の問題解決作業は必要です（時点对応）。しかしながら、企業活動の本質課題は、表には見えないことが多いものです。時系列（時間線）に沿って私達コンサルが併走することが有効だと考えます。結果、来るべき未来が見えてくるものです。</p>
<p>線 面</p>	<p>As-is モデルを作成していく作業です。業務サイクルの整理、ビジネスモデル・業務ルーティンも見える化も行いたいものです。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="224 518 1198 845"> </div> <div data-bbox="1332 550 1512 805"> </div> <div data-bbox="1601 542 2060 805"> </div> </div> <p>社内スケジュールと業務の仕組みの見える化に加えて、使用帳票等の調査を行います。DX活用の実体調査・準備作業です。この作業では、調査が中心です。改善策なども見えて来ますが、保留を基本姿勢とします。</p>
<p>面 立体</p>	<p>To-beモデルとのGap分析、新規モデル構築のフェーズです。出来れば、実施まで進めましょう。          Can-Be モデルの構築と、それまでの手順・道筋を作ります。各種のDX手法の活躍の局面となります。          留意点は、Can-Beに捉われるあまり、消極的な中途半端なものになりがちだということです。ロマンを持ちましょう。ワクワク感も必要でしょう。多少の無理も必要でしょう。          実際の有効な組織目標とは①実現不可能に見え②事実に立脚せず③ムリがあり④非科学的なものであり⑤納得が行かないものです。          * 「日本で一番大切にしたい会社大賞」「経営品質賞」などの応募も一つの目標となります。          * 設備投資額が大きくなる場合には、各種の補助金申請も考慮しましょう。ex.事業再構築補助金。          * 将来の株式公開の準備作業ともなりうるものです。</p>